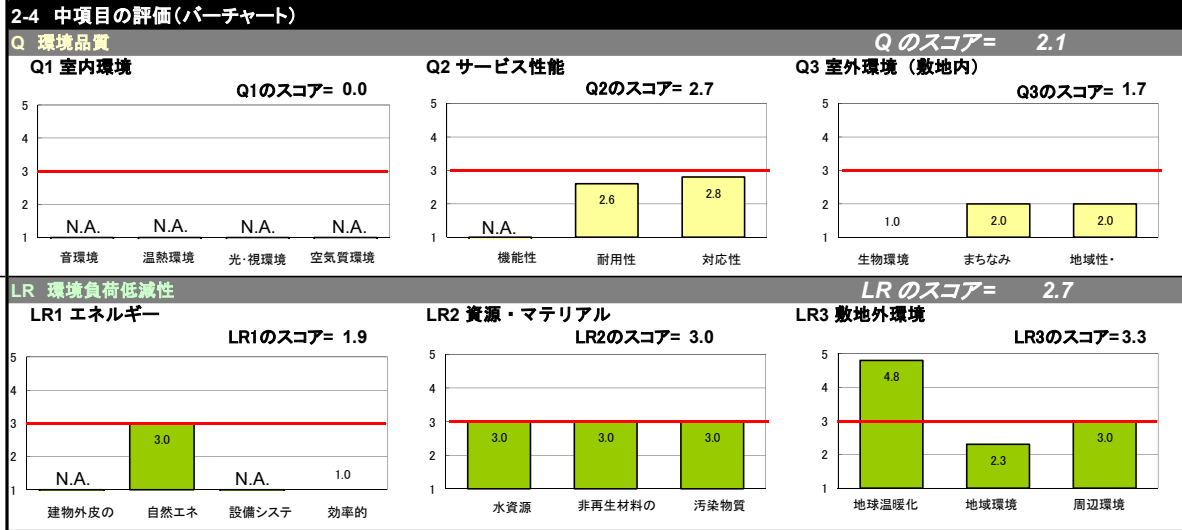
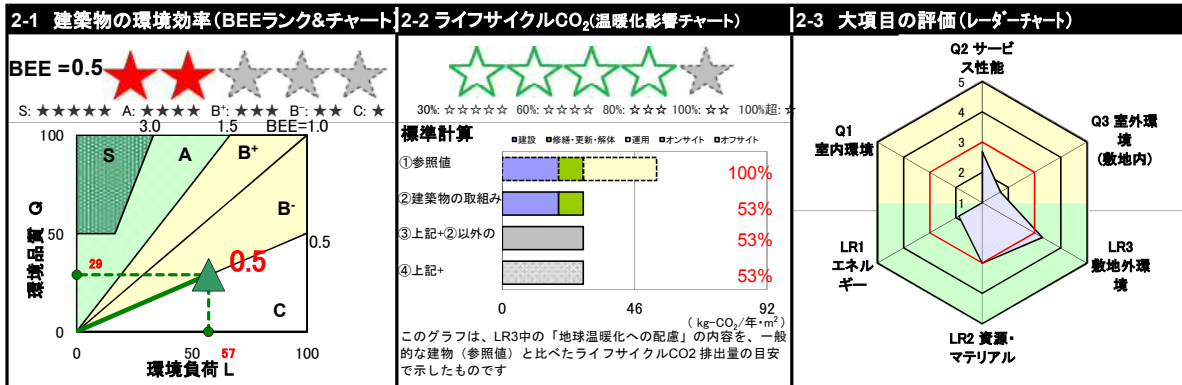


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊橋店立体駐車場	階数	地上3階		
建設地	愛知県豊橋市藤沢町141番地	構造	S造		
用途地域	商業地域、第2種住居地域、防火地域	平均居住人員	5人		
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年8月25日		
敷地面積	9,724 m ²	作成者	雄健工業株式会社 齊藤孝広		
建築面積	3,908 m ²	確認日	2018年8月26日		
延床面積	11,690 m ²	確認者	雄健工業株式会社 齊藤孝広		



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">8.9 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部			建物全体・共用部			居住・宿泊部分			全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部			建物全体・共用部			居住・宿泊部分			居住・宿泊部分			全体					
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数						
Q 建築物の環境品質																			2.1
Q1 室内環境																			-
1 音環境																			-
1.1 室内騒音レベル																			-
1.2 遮音																			-
1 開口部遮音性能																			-
2 界壁遮音性能																			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																			-
1.3 吸音																			-
2 温熱環境																			-
2.1 室温制御																			-
1 室温																			-
2 外皮性能																			-
3 ソーン別制御性																			-
2.2 湿度制御																			-
2.3 空調方式																			-
3 光・視環境																			-
3.1 昼光利用																			-
1 昼光率																			-
2 方位別開口																			-
3 昼光利用設備																			-
3.2 グレア対策																			-
1 昼光制御																			-
3.3 照度																			-
3.4 照明制御																			-
4 空気質環境																			-
4.1 発生源対策																			-
1 化学汚染物質																			-
4.2 換気																			-
1 換気量																			-
2 自然換気性能																			-
3 取り入れ外気への配慮																			-
4.3 運用管理																			-
1 CO ₂ の監視																			-
2 喫煙の制御																			-
Q2 サービス性能																			2.7
1 機能性																			-
1.1 機能性・使いやすさ																			-
1 広さ・収納性																			-
2 高度情報通信設備対応																			-
3 バリアフリー計画																			-
1.2 心理性・快適性																			-
1 広さ感・景観 (天井高)																			-
2 リフレッシュスペース																			-
3 内装計画																			-
1.3 維持管理																			-
1 維持管理に配慮した設計																			-
2 維持管理用機能の確保																			-
2 耐用性・信頼性																			2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振																			0.52
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																			0.48
2 免震・制震・制振性能																			0.80
2.2 部品・部材の耐用年数																			0.20
1 躯体材料の耐用年数																			0.33
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																			0.42
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																			0.42
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																			0.17
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																			-
6 主要設備機器の更新必要間隔																			-
2.4 信頼性																			0.19
1 空調・換気設備																			-
2 給排水・衛生設備																			-
3 電気設備																			0.50
4 機械・配管支持方法																			0.50
5 通信・情報設備																			-

3 対応性・更新性				2.8	0.48			-	2.8
3.1 空間のゆとり				2.6	0.31			-	
1 階高のゆとり				1.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ			0.1 ≤ 壁長さ比率 < 0.3 で空間の形状・自由さ大きい	5.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		-	-			-	
2 給排水管の更新性				-	-			-	
3 電気配線の更新性				3.0	1.00			-	
4 通信配線の更新性				-	-			-	
5 設備機器の更新性				-	-			-	
6 バックアップスペースの確保				-	-			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57			-	1.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30			-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40			-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温暖環境の向上				2.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									2.7
LR1 エネルギー					0.40				1.9
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-			-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.49			-	3.0
3 設備システムの高効率化				-	-			-	-
4 効率的運用				1.0	0.51			-	1.0
集合住宅以外の評価				1.0	1.00			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				1.0	1.00			-	
集合住宅の評価				-	-			-	
4.1 モニタリング				-	-			-	
4.2 運用管理体制				-	-			-	
LR2 資源・マテリアル					0.30				3.0
1 水資源保護				3.0	0.15			-	3.0
1.1 節水				-	-			-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	1.00			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-			-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63			-	3.0
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	鉄骨躯体はメッキ仕上のため容易に分別可能	5.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22			-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	1.00			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	-			-	
3 冷媒				-	-			-	
LR3 敷地外環境					0.30				3.3
1 地球温暖化への配慮		①		4.8	0.33			-	4.8
2 地域環境への配慮				2.3	0.33			-	2.3
2.1 大気汚染防止			燃焼機器の設置なし	5.0	0.25			-	
2.2 温暖環境悪化の改善				1.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.3	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.33			-	
2 汚水処理負荷抑制				-	-			-	
3 交通負荷抑制		独自		3.0	0.33			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.33			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	1.00			-	
2 振動		独自		-	-			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート
(仮称)豊橋店立体駐車場

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.8	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	2.6	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:8.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 豊橋店立体駐車場

計画上の配慮事項	
総合	施設建設による周辺環境に影響の無いよう配慮した。
Q1 室内環境	駐車場のみの構成のため、評価対象外
Q2 サービス性能	設備・空間のプランニングの自由度に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	夜間照明の設置により、防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー	LED照明を採用することにより、省エネルギーに配慮した。
LR2 資源・マテリアル	解体が容易となる材料の使用に配慮した。
LR3 敷地外環境	施設建設をおこなうことにより、周辺道路の渋滞緩和に配慮した。
その他	特になし